

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691500039
法人名	医療法人誠心会
事業所名	グループホーム百美
所在地	鹿児島県日置市吹上町小野1478番地 (電話) 099-245-1570
自己評価作成日	平成24年8月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成24年11月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ご利用者様、ご家族様と職員がコミュニケーション、散歩、ドライブまた、ご家族様へのお手紙発送により馴染みの関係を気づけるように努力しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○日置市の市街地からはやや離れた国道沿いに建てられたグループホームであり、経営主体の病院と24時間医療連携体制が取られて利用者や家族の安心につながっている。同じ建物内に小規模多機能ホームやサービス付き高齢者向け住宅、隣接して病院と養護老人ホーム等が建てられている多機能福祉施設の中に位置している。開設して1年余りであるが地域との交流は非常に活発であり、福祉施設全体を災害拠点として地域へ提供することで日置市と協定書を取り交わしている。

○利用者の思いや意見、ご家族の希望や提案を、職員はミーティング等を通じて内容を共有して、ケアに迅速かつ具体的に反映できるように取り組むと共に、改善結果等は運営推進会議及びホームからご家族宛への毎月の写真を添付したお便りできめ細かく連絡するなど配慮に努めている。

○利用者本人が大切にしている馴染みの人や場所との関係が途切れないように、相談受付表や各種のシートにきめ細かく記録して職員が対応について話し合い、分析してプランにも組み込み、利用者本人の自由な暮らしへの支援と共に、関係の継続に配慮している。

○本人・家族の意向や希望、関係者からの多くの情報を基にして、職員全員で十分に意見交換して、利用者本位のきめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。ケアの経過は、細かく項目設定されたチェックシートや評価用シート等に詳しく記録され、それを基に介護計画の見直し修正が適切に行われている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしく生活できるように支援する理念をつくりあげ、毎日の申し送りの後、全員で唱和し実践につなげられるようにしている。	法人の基本方針やグループホーム全体の理念を基に、職員全員で作成したホームの理念及び年間目標に沿って、地域に溶け込んで利用者と職員が共に笑顔で楽しく日々の生活が送れるように、また、利用者の目線に沿った支援の実現に取り組んでいる。理念は掲示すると共に、申し送り時の唱和や職員ミーティングで意義を確認して理解を深めるよう努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	散歩や買い物に出かけた時など、地域の方と挨拶や会話をかわしたり、また、行事に参加していただく等、日常的に交流をしています。	自治会に加入し、地域の六月燈、敬老会、小学校の運動会等に参加したり、日常的に散歩や買い物の際に地域の方々と挨拶や話を交わしたり、ホームの敬老会や併設の老人ホーム等との合同の夏祭り等では多くの地域の方々の参加があり、交流が盛んである。また、利用者の知人等の来所も頻繁であり、中高校生や地域の方々のボランティア活動も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成の貢献として実習の受け入れも積極的に行ったり、地域交流や会議等に参加していただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの内容や外部評価についての説明や結果報告を行い、行政・地域の方々の意見を聞き、その後職員全員で検討しサービスの向上に活かしている。	会議は、家族や地域住民・民生委員・市役所や地域包括支援センターの職員等関係者が参加して定期的に開催されている。ホームの現況報告や行事・外部評価・問題点等について活発な意見交換が行われ、日々のサービス向上に役立っている。開設1年目の現状で、より地域にスムーズに溶け込めるように委員から多くの助言も得られ、具体的にこれらの助言が活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	百美だよりや運営推進会議の記録等を持参、意見を聞いたり、入居者様や、ご家族様の相談に出向いたり、電話等により聞いたりしながら協力関係を気づくように取り組んでいる。	市役所や地域包括支援センターの担当者とは運営推進会議の他に、各種の手続き等の訪問時の意見交換、不明点などの電話による相談に具体的に対応して頂いている。また、市の「グループホーム連絡協議会」でも積極的に意見・情報の交換を行い協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月1回身体拘束廃止委員会を開催し、具体的な例を挙げ日頃の自分たちのケアに照らし合わせ身体拘束をしないケアに努めている。	言葉かけによる拘束をはじめとする身体拘束については、毎日の申し送り時や毎月の職員ミーティング、身体拘束廃止委員会及び同時開催の勉強会等で、繰り返し十分な理解への取り組みとケアへの反映について説明と話し合いがなされている。職員は安全確保やその人らしい自由な暮らしを支援するための工夫に取り組んでいる。また、併設の関連法人の職員だけでなく、近隣の方々とも見守りや声かけをしてもらえるような関係が築かれている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月ミーティングや勉強会等にて高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持ち、また、日頃より職員同士の言動や行動に注意を払い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	誠心会全体による勉強会等に参加し、自施設での勉強会により全職員に学ぶ機会を持っている。対応者が必要と思われる利用者がいる場合には、運営者の指示により説明、アドバイスをを行い支援できる体制となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時、事業所の考え方や取り組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っています。又、起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携の実際について詳しく説明し同意を得ています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃の会話の中や家族会等で常に問いかけ、何でも言っていたりするような雰囲気作りに留意しており、又、玄関に意見箱を置いたり、面会簿に意見欄を付け書いていただき運営に反映させています。	利用者の思いや意見は日常会話や所作の見守りなどで、ご家族とは訪問時の対話及び面会簿へ記入して頂く意見や年1回の家族会・アンケート等で把握に努めている。職員はミーティング等を通じて内容を共有して、ケアに迅速かつ具体的に反映できるように取り組んでいる。改善結果等は運営推進会議やホームからご家族宛への毎月の写真を添付したお便りで報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月ミーティングや勉強会を行い意見を聞いたり、日頃から意見や要望等を言いやすい雰囲気作りを行っています。	職員からの意見や提案は、毎月の職員ミーティングや勉強会、必要に応じての個別面談等で聞き取ると共に、日常的に話しやすい雰囲気作りに努め、日頃よりコミュニケーションを取りやすい環境作りに努めている。得られた意見や提案を、具体的に業務改善やサービス向上、職員の意欲向上などにつなげるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	毎月研修会等を行い職員や職場の状況報告をし、問題点を話し合い向上心を持って働けるように現場環境・条件の整備に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月の事業所内の研修だけでなく、事業所外の研修にも多くの職員が受講できるようにしており、研修報告もミーティングや勉強会にて発表してもらっています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の職員と意見交換や相談等をおこなったり、サービスの質を向上させています。また、今後は他施設見学を取り入れたネットワークづくりを行っていくように努力する。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご本人様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご家族様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた時、入居者様やご家族様の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案や相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら、必要なサービスにつなげるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており普段から入居者様に教えていただける場面が多くもてるように工夫や声かけに配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様のご家族に月1回状況や写真を添えてお手紙を送付、必要に応じて電話をさしあげたりし、日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め、ご本人を支えていくための協力関係を気づいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入居者様の一人ひとりの生活習慣を尊重し、これまでの経験を生かした暮らしが出来るよう支援しています。また、ドライブの日をもうけ入居者様の家や思い出の場所に行き知人と会話をしたり、人や場所との関係がとぎれないように支援しています。	入所時の聞き取りやご家族の来訪時に利用前の人間関係や地域との関係などを把握し、相談受付表や支援経過記録等に記録して支援に活かしている。プランにも組み込み、馴染みの商店での買い物や墓参り、ドライブなどへの同行にも努め、関係の継続に配慮している。併設の小規模ホーム等の関連施設を利用されている馴染みの方々や来所される友人・知人との交流も積極的に支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶や食事、レクリエーションの時間に多くの会話をもちみんな楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせるような場面づくりをするなど、入居者様同士の関係がうまくいくように、職員が調整役となって支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了された方も、職員が様子を見に行ったり、又、ご家族からの相談にのったり、継続的な付き合いができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中での会話や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。又、意思疎通が困難な方には、ご家族様や関係者から情報を得るようにしています。	利用者の見守りや日常会話を通じて思いや意向を可能な限り把握するように努め、ミーティングやきめ細かく記録した連絡用のノートで情報の共有を図っている。ご家族とも相談しながら、個々の利用者にとって最良の支援を目指す努力をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に関係者から聞き取りをしたり、契約時及び面会時に時間をかけ、暮らしの情報や生活環境についてお聞きし、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の一人ひとりの状態を把握し、できないことより出来る事に注目し、その人全体の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様が自分らしく暮らせるようご本人やご家族様の要望を聞き、職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています。	本人・家族の意向や希望、関係者からの多くの情報を基にして、職員全員で十分に意見交換して、利用者本位のきめ細かなわかりやすい介護計画を作成している。ケアの経過は、日々細かく項目設定された「モニタリングチェック」及び評価用記録に詳しく記録され、それを基に介護計画の見直し修正が適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや入居者様の状態変化は、個々の記録に記載し、職員間の情報共有をしています。又、個別記録を基に介護計画の見直し、評価を実施しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日常生活の中でご利用者様一人ひとりのニーズに対応した支援やサービスに取り組んでいる。また、ご利用者様やご家族様のご要望等に応じて多機能について説明を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流や消防等周辺施設からの理解・協力が得られるように取り組んでいます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族様が希望するかかりつけ医となっています。主体が病院なので医療連携はもちろん、適切な医療が受けられるように支援しています。	利用前の受診状況は十分把握されており、現在は全員が隣接した関連病院をかかりつけ医とした利用者であり、週に1回は必ず往診を受けられることが、本人・家族とも毎日を安心して過ごすことにつながっている。受診状況や必要な対応も職員をはじめとする関係者で共有され、ご家族への連絡も適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員として看護職員も配置しているが、他、訪問看護との契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言を行ってもらい、職員と訪問看護師とは気軽に相談できる関係ができており、看護師と医療機関との連携も密にとれる体制が確保されています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしています。また、ご家族様とも回復状況等情報交換しながら、速やかな退院支援に結び付けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期看取りに関する説明を行い、ご家族様の希望があれば終末期に向け入居者様、ご家族様、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしていますが、まだ、終末を施設で希望する方はおられません。	重度化や終末期のケアについては、「重度化対応・看取り介護指針」を定め、本人やご家族に十分に説明して同意を得ている。本人や家族と十分に話し合い、主治医や職員で密に連携を図り、ホームとして様々な状況に可能な限り支援・対応できるように体制を築いている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	日頃より、緊急対応について話をしたり、勉強会やミーティングで応急手当を指導して、全ての職員が初期対応できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回入居者様、地域の方と一緒に避難訓練を行い、地域協力体制については、運営推進会議や連絡網にも記載し協力をお願いしています。</p>	<p>年2回のうち1回は消防署と連携して避難訓練・消火訓練を実施している。これらの訓練は、地域の住民や併設する施設の職員にも参加して頂き、職員と利用者が一緒に行っている。また、地域や併設の関連施設・病院にも自動通報できる装置も整備され、非常用の食料や飲料水・備品等の準備も十分な状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの尊厳を重んじ、個々に合わせた言葉使いや対応を心がけるよう勉強会やミーティング時に、全職員に周知しています。	倫理やマナー・プライバシー保護・接遇研修等の充実を図ると共に、ミーティング等を通じて利用者の尊厳やプライドを損ねるような言葉かけや対応の防止に努めている。日常のケアに際しても言葉遣いや声かけに工夫し、きめ細かな観察や個人記録の取り扱いにも十分配慮して、利用者の人格や感性を大切にしたい対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、入居者様の言葉、行動等により、希望、関心、嗜好を見極めご利用者様が選びやすい場面を作ったり、入居者様の意思を尊重するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせて生活ができるようにお一人おひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別性のある支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣は、入居者様の同意を尊重し、必要な方には、職員も一緒に考えたりと入居者様の気持ちにそった支援を行っている。理美容については、ご本人の希望に合わせたカットや毛染めをしてもらえるよう、連携をとっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の体調等を考えながら、一緒に買い物や調理をし、ご利用者様と職員が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる雰囲気大切にできるようにしています。	日常会話で把握できた利用者の好みを献立に反映させ、とろみやきざみ食・ミキサー食等の対応も行っている。毎月「料理の日」を設け、食材の買い物・調理・食卓の準備や後片付けなどを利用者と共に、楽しく食事を行う雰囲気作りを努めている。また、外食や誕生会でのおやつ作りなど、食の楽しみの機会を工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量を毎回チェックし、職員全員が入居者様の食事状況を把握できるようにしています。状態によっては、職員で検討したり、管理栄養士に相談して食事形態を変更するなどの工夫を行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後見守り、介助にて口腔ケアを行っている。毎月1回歯科医師により舌・義歯洗浄や口腔ケア及び指導、助言も受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居者様の個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や介助を支援しています。尿意のない入居者様も時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄できるよう支援しています。	排泄チェック表の活用や周りの方々にも配慮した適宜の声かけ誘導で、利用者の不安や羞恥心の軽減も兼ねた排泄の自立に向けた支援を行っている。また、利用者個々に合わせた、これまでの生活習慣に沿った対応になるように職員が十分に話し合い、ケアプランに組み込んで支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事の工夫や、散歩、軽体操等により自然に排泄できるように取り組み、必要に応じて医療連携により主治医に相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入居者様のご希望を確認し、いつでも入浴ができるように努力している。	石けんやシャンプー等の持ち込みなどを含む本人の好みや習慣は、本人やご家族から聞き取り把握している。利用者の体調や希望にもよるが、原則として毎日入浴可能であり、状態に応じて清拭や足浴に切り替えている。入浴を嫌われる方には、タイミングの良い声かけや誘導に努め、ゆったりと安心して入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や表情を考慮し、日中の生活を促し、夜間の安眠へとつなげている。寝付けないときには、おしゃべりをしたりする等配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表を介護記録に付け、職員全員が把握できるようにしている。服薬後も異常、変化がないか注意し異常があればすぐに病院、主治医へ連絡するようになっています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理・手芸その他の活動の中で、お一人おひとりの力を発揮してもらえるようお願いし、その後感謝の言葉をかけるように心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様の気分や希望に応じて散歩・買い物・ドライブ等に出かけ季節を肌で感じてもらい心身の活性につなげるように支援しています。	利用者の健康状態や天候を見ながら、散歩や買い物・ドライブを始め、地域の敬老会や催し物・小学校の運動会・シーズンごとの花見・遠足・外食など、可能な限り多くの支援を行い、外出が楽しみなものになるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に出かけた時には、入居者様に好みのものを選んでいただいたり、お支払いをしていただいたりして、買い物を楽しんでいただけるよう、また、自己決定により自信を持っていただけるように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様、知人等に電話しやすい雰囲気をつくったり、会話が他の入居者様に聞こえないように子機を使って自室にて話していただく等の配慮をしたり、暑中見舞い等を書いていただいたり日常的に電話や手紙を出せるよう支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様にとって使いやすい配置や馴染みの物を取り入れ家庭的な雰囲気になるように心がけ、壁飾りは、入居者様と一緒に考え季節あるものにしていきます。</p>	<p>リビングには利用者と職員が共同で作成した季節感のある壁飾りや折り紙、それに行事の写真などが飾られ、利用者にとって不快に感じる音や匂いなどは感じられず、空調にも配慮がなされ、落ち着いた雰囲気、静かにゆったりと過ごせるように工夫されている。大きな窓からは外の風景がよく見え、併設の小規模ホームとも自由に行き来ができ、解放的な雰囲気のなか居心地よく過ごせる環境である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>スペースがあり、個々自由にソファでくつろいでいただいたり、自室で気の合った利用者様同士で思い思いに過ごせるように配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室には、写真や手作りカレンダー等入居者様それぞれの居室作りが行われるよう配慮しています。	居室にはベッド・タンス・エアコンが設置されており、利用者には自分の使い慣れた物、馴染みの物、テレビ・家具・日用品・人形・写真等を持ち込んで頂き、自由に気持ちよく過ごせるように、ご家族とも協力しながら環境作りを工夫している。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	バリアフリーで設計しており、いたる所に手すりなども設置しており、居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしく生活できるように支援する理念をつくりあげ、毎日の申し送りの後、全員で唱和し実践につなげられるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方がに行事等に参加していただいたり、散歩のときなど会話を交わしたり、日常的に交流行っています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成の貢献として実習の受け入れも積極的に行ったり、地域交流や会議等に参加していただいています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの内容や外部評価についての説明や結果報告を行い、行政・地域の方々の意見を聞き、その後職員全員で検討しサービスの向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	入居者様や、ご家族様の相談に出向いたり、電話等により聞いたり、百美だよりを持参したり協力関係を気づくように取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎月1回身体拘束廃止委員会を開催し、具体的な例を挙げ日頃の自分たちのケアに照らし合わせ身体拘束をしないケアに努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日頃より職員同士の言動や行動に注意を払い、毎月ミーティングや勉強会等にて高齢者虐待防止法について学ぶ機会を持つなど、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	誠心会全体による勉強会等に参加し、自施設での勉強会により全職員に学ぶ機会を持っている。対応者が必要と思われる利用者がいる場合には、運営者の指示により説明、アドバイスをを行い支援できる体制となっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時、事業所の考え方や取り組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っています。又、起こりうるリスク、重度化や看取りについての対応、医療連携の実際について詳しく説明し同意を得ています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>玄関に意見箱を置いたり、面会簿に意見欄を儲け書いていただいたり、日頃の会話の中やご家族様の面会時に何でも言っただけのような雰囲気づくりに留意し、運営に反映させています。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月ミーティングや勉強会を行い意見を聞いたり、日頃から意見や要望等を言いやすい雰囲気作りを行っています。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎月研修会等を行い職員や職場の状況報告をし、問題点を話し合い向上心を持って働けるように現場環境・条件の整備に努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内の研修を毎月行うとともに、事業所外の研修にも多くの職員が受講できるようにしており、ミーティングや勉強会にて報告をしてもらうようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他事業所の職員と意見交換や相談等をおこなったり、サービスの質を向上させています。また、今後は他施設見学を取り入れたネットワークづくりを行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご本人様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談受付時や契約時にご家族様から可能な限り情報収集を行い、求めていることや不安を理解し、共有することによって安心を確保するための関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご相談を受けた時、入居者様やご家族様の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案や相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら、必要なサービスにつなげるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様は人生の先輩であるという考えを職員が共有しており普段から入居者様に教えていただける場面が多くもてるように工夫や声かけに配慮しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日々の暮らしの出来事や気付きの情報共有に努め、入居者様のご家族に月1回状況や写真を添えてお手紙を送付、必要に応じて電話をさしあげたりし、ご本人を支えていくための協力関係を気づいています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の一人ひとりの生活習慣を尊重し、これまでの経験を生かした暮らしが出来るよう支援しています。また、ドライブの日をもうけ入居者様の家や思い出の場所に行き知人と会話をしたり、人や場所との関係がとぎれないように支援しています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶や食事、レクリエーションの時間に多くの会話をもちみんな楽しく過ごす時間や気の合う者同士で過ごせるような場面づくりをするなど、入居者様同士の関係がうまくいくように、職員が調整役となって支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスの利用が終了された方も、職員が様子を見に行ったり、又、ご家族からの相談にのったり、継続的な付き合いができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中での会話や表情などからその真意を推し測ったり、それとなく確認するようにしている。又、意思疎通が困難な方には、ご家族様や関係者から情報を得るようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に関係者から聞き取りをしたり、契約時及び面会時に時間をかけ、暮らしの情報や生活環境についてお聞きし、把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できないことより出来る事に注目し、入居者様の一人ひとりの状態を把握し、その人全体の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者様が自分らしく暮らせるようご本人やご家族様の要望を聞き、職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個々の記録に気づきや入居者様の状態変化を記載し、職員間の情報共有をしています。又、個別記録を基に介護計画の見直し、評価を実施しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>日常生活の中でご利用者様一人ひとりのニーズに対応した支援やサービスに取り組んでいる。また、ご利用者様やご家族様のご要望等に応じて多機能について説明を行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域との交流や消防等周辺施設からの理解・協力が得られるよう地域との交流や消防等周辺施設からの取り組んでいます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族様が希望するかかりつけ医となっています。主体が病院なので医療連携はもちろん、適切な医療が受けられるように支援しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員として看護職員も配置しているが、他、訪問看護との契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言を行ってもらい、職員と訪問看護師とは気軽に相談できる関係ができており、看護師と医療機関との連携も密にとれる体制が確保されています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、頻繁に職員が見舞うようにしています。また、ご家族様とも回復状況等情報交換しながら、速やかな退院支援に結び付けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期看取りに関する説明を行い、ご家族様の希望があれば終末期に向け入居者様、ご家族様、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしていますが、まだ、週末を施設で希望する方はおられません。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会やミーティングまた、日頃より、緊急対応について勉強したり、全ての職員が初期対応できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回入居者様、地域の方と一緒に避難訓練を行い、地域協力体制については、運営推進会議や連絡網にも記載し協力をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの尊厳を重んじ、勉強会やミーティング時に、個々に合わせた言葉使いや対応を心がけるよう全職員に周知しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、入居者様の言葉、行動等により、希望、関心、嗜好を見極めご利用者様が選びやすい場面を作ったり、入居者様の意思を尊重するように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様のペースに合わせた生活ができるようお一人おひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、できるだけ個別性のある支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣は、入居者様の同意を尊重し、必要な方には、職員も一緒に考えたりと入居者様の気持ちにそった支援を行っている。理美容については、ご本人の希望に合わせたカットや毛染めをしてもらえるよう、連携をとっています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の体調等を考えながら、一緒に買い物や調理をし、ご利用者と職員が同じテーブルを囲んで楽しく食事ができる雰囲気大切にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事量や水分摂取量を毎回チェックし、職員全員が入居者様の食事状況を把握できるようにしています。状態に応じて、職員で検討したり、管理栄養士に相談して食事形態を変更するなどの工夫を行っています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎月1回歯科医師により舌・義歯洗浄や口腔ケア及び指導、助言も受け、介助にて口腔ケアを行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>入居者様の個々の排泄パターンを把握し、トイレ誘導や介助を支援しています。尿意のない入居者様のも時間を見計らって誘導することにより、トイレで排泄できるよう支援しています。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事の工夫や、散歩、軽体操等により自然に排泄できるように取り組み、必要に応じて医療連携により主治医に相談しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入居者様に声掛けを行いご希望を確認し、いつでも入浴ができるように努力している。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様の体調や表情を考慮し、日中の生活を促し、夜間の安眠へとつなげている。寝付けないときには、おしゃべりをしたりする等配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表を介護記録に付け、職員全員が把握できるようにしている。服薬後も異常、変化がないか注意し異常があればすぐに病院、主治医へ連絡するようになっていきます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	料理・手芸その他の活動の中で、お一人おひとりの生活歴に応じた力を発揮してもらえるようお願いし、その後感謝の言葉をかけるように心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	入居者様の気分や希望に応じて散歩・買い物・ドライブ等に出かけ季節を肌で感じてもらい心身の活性につなげるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物に出かけた時には、入居者様に好みのものを選んでいただいたり、お支払いをしていただいたりして、買い物を楽しんでいただけるよう、また、自己決定により自信を持っていただけるように支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>暑中見舞い等を書いていただいたりご家族様、知人等に電話しやすい雰囲気をつくり、会話が他の入居者様に聞こえないように子機を使って自室にて話していただく等の配慮をしたり、日常的に電話や手紙を出せるよう支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様にとって使いやすい配置や馴染みの物を取り入れ家庭的な雰囲気になるように心がけ、壁飾りは、入居者様と一緒に考え季節あるものにしていきます。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個々自由にソファでくつろいでいただいたり、自室で気の合った利用者様同士で思い思いに過ごせるように配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、写真や手作りカレンダー等入居者様それぞれの居室作りが行われるよう配慮しています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで設計しており、いたる所に手すりなども設置しており、居住環境が適しているかを見直し、安全確保と自立への配慮をしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない